

箕面市立老人いこいの家指定管理者候補者選定会議 議事概要

1. 会議の開催状況

- (1) 開催日時 令和8年9月15日(火) 午前10時から12時まで
- (2) 開催場所 箕面市役所 第三別館2階 会議室
- (3) 出席者 村田 尚記(人権文化部長)【会長】
荻野 知崇(福祉部長)
柳原 健治(公認会計士・税理士)
福原 宏幸(有識者)
久世 定 (有識者)
- (4) 事務局 人権文化部副部長・濱口、人権文化部人権政策課長・乾、同課・西田

2. 議事概要

A. 萱野老人いこいの家

- (1) 当日スケジュール及び評価等について
事務局より下記のとおり説明を行った。
 - <当日スケジュール>
 - 1. 応募者によるプレゼンテーション(15分)
 - 2. ヒアリング(15分)
 - 3. 採点、集計
 - 4. 合議による選定
 - <採点方法>
応募書類及びプレゼンテーション、ヒアリングの内容を踏まえて採点する。評価者一人あたりの持ち点は300点とする。
- (2) 応募者によるプレゼンテーションについて
一般社団法人福祉サービスよってんかより、プレゼンテーションが行われた。
- (3) ヒアリングにおける主な質疑について
 - (質問) 地域特有の課題やそれに対する対策はあるか。
 - (回答) 非識字のかたや、公的な通知等の読解が困難なかたを対象に、読解補助の取組等を行っている。
 - (質問) アウトリーチのエリア設定はどうなっているか。
 - (回答) 北芝の自治会エリアや、入居者の高齢化が進む市営住宅のある萱野1・

2丁目を中心としてアウトリーチを行っている。今後は萱野小学校区までエリアを広げ、地域との連携やつながりを模索した取組を展開していきたいと考えている。

(質問) 60歳未満のかたの利用実績があるのはなぜか。

(回答) 多世代交流や地域交流を通じて、利用者や地域住民に楽しんでもらうための様々な催しを実施しているため。例えば、自治会と共催の祭りでは、子どもたち自身が企画・運営に携わることで多世代交流の一翼を担うなど、世代を超えた交流を実現している。

(質問) スタッフ数が限られている中で行事を開催するにあたり、関連団体との具体的な協力体制はあるか。

(回答) 大規模な活動を実施する際は、地域のボランティアグループ等と連携し、限られた人員の中でも円滑に実施できるよう努めている。

(質問) 現在着手できていないことや、着手済だが進められていないことなどを、課題としてどのように受け止めているか。また、次期5年でどのようにしていきたいか。

(回答) 活動を広げる中で見えてくる多様な課題やニーズへの対応に難しさを感じる部分はあるが、今後はサービスの受け手だけでなく、高齢者が互いに支え合う「担い手」を育成することが重要であると考えている。次期5年間は、地域住民や自治会などの組織と連携を深め、地域コミュニティのつながりを強化し、お互いに支え合える体制づくりに力を入れていきたい。

(質問) 「様式 14 品質保証への取組」中「②苦情処理体制の整備状況」にて苦情処理要領等が「無」となっているが、作成を検討いただけるか。

(回答) 前向きに検討していきたい。

(質問) 指定管理料の協議について応じることは可能か。

(回答) 可能である。

(4) 各評価者の主な意見

* 高齢化が進む今後の地域社会において、高齢者の自己実現や互助の場をめざす取組は非常に重要であり、ぜひ期待したい。

(5) 選定会議としての結論

応募書類、プレゼンテーション、ヒアリングに基づき評価した結果、評価点数は下記のとおりとなった。

評価点数	949点／	1,500点
(構成員平均	190点／	300点)

上記点数に基づき判断した結果、福祉サービスよってんかは箕面市立萱野老人いこいの家指定管理者の候補者として適任である。

B. 桜ヶ丘老人いこいの家

(1) 当日スケジュール及び評価等について

事務局より萱野老人いこいの家と同様の説明を行った。

(2) 応募者によるプレゼンテーションについて

一般社団法人福祉サービスよってんかより、プレゼンテーションが行われた。

(3) ヒアリングにおける主な質疑について

(質問) 萱野老人いこいの家と事業区分や活動が異なるのはなぜか。

(回答) 令和4年度から新規で桜ヶ丘老人いこいの家の指定管理者となった際、それ以前の事業区分を継承し、現在も継続して実施しているため。

(質問) 桜ヶ丘老人いこいの家では、相談事業は行っていないのか。

(回答) 桜ヶ丘人権文化センターで実施しているため、そちらを案内している。

(質問) 萱野老人いこいの家では従事者として保健師の配置が予定されているが、桜ヶ丘老人いこいの家では予定されていないのはなぜか。

(回答) 萱野老人いこいの家で実施している生活相談のために保健師を配置している。なお、必要に応じて桜ヶ丘へ派遣することも可能である。

(質問) 桜ヶ丘老人いこいの家の運営方針は、利用者である高齢者にある程度委ねていると考えてよいのか。

(回答) 桜ヶ丘老人いこいの家周辺では、各自治会の老人会の活動が盛んであり、自主的に盛り上げていこうという風土がある。地域に応じた運営方法があるという前提のもと、利用者の意識を尊重しつつ、相談しながら運営を行っている。

(質問) 指定管理料の協議について応じることは可能か。

(回答) 可能である。

(4) 各評価者の主な意見

*サークル活動や同好会など、老人いこいの家を中心とした様々な活動が非常に活発に行われており素晴らしい。今後の活動にも大いに期待している。

(5) 選定会議としての結論

応募書類、プレゼンテーション、ヒアリングに基づき評価した結果、評価点数は下記のとおりとなった。

評価点数	916点／	1,500点
(構成員平均	183点／	300点)

上記点数に基づき判断した結果、福祉サービスよってんかは箕面市立桜ヶ丘老人いこいの家指定管理者の候補者として適任である。